

# しいのみ園20周年記念誌が完成しました。



「しいのみ園」開所からの20年は、私たちの財産です。この記念誌は、これまでにご協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げると共に、20年の歴史を後世につなぐこと、そして私たちが、これから先をどう歩んでいくのかが見える決意表明となる構成を考えました。この誌面をお借りして記念誌の一部をご覧ください。

広報委員長 宇留間俊行

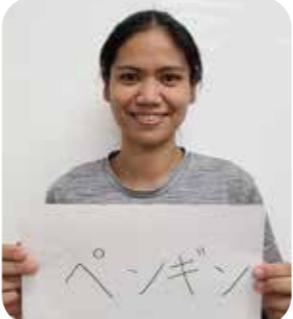


しいのみ園20周年記念誌の  
PDFデータについては  
上記QRコードからご覧ください。



# 新人紹介

お題:自分を例えると○○です



サンホセリセットリザルト

介護福祉士/しいのみ園

異なる気候で成長する能力を持つペンギンのように、私は適応力があり、どんな困難にも立ち向かうことができます。私は忍耐強く、目標を達成するまであきらめません。



田代 幸子

介護福祉士/しいのみ園あい

昨年11月に入社しました田代幸子と申します。しいのみ園あい就労継続支援B型に所属しています。洗濯、毛糸のコースター作り、ビーズでアクセサリー作りなど利用者様と楽しく作業に取り組ませて頂いています。今後も、元気いっぱい頑張ります！よろしくお願ひいたします。



ヘノナ レアジョイ ベレザ

介護福祉士/しいのみ園

昨年10月に入社しましたヘノナレアジョイと申します。私は鳩が好きです。鳩の如く人懐っこく、忠実なタイプの人間です。小さくておとなしいけれども、力強いタイプです。私もグループの一員になることを好み、個人の成功よりもチームの成功を常に重視します。学習意欲があり、先輩達と同僚とアイデアを共有したいと思っています。宜しくお願ひいたします。



アトウンリジージョイスオサベル

介護福祉士/しいのみ園

常に高い空を飛び回っており、持ち前の俯瞰力を活かして獲物を捕らえ、タカのように私は俯瞰して物事を考えることができます。問題が起きてしまわないかと常に予測しながら検討していく俯瞰力が私の強みです。



野口 愛

保育士/しいのみ園ともほんだ

毎日が新たな発見や成長等を見守る事ができ、私自身、好きな仕事に努めている事、利用者様の笑顔を見る事ができて毎日幸せに感じております。仕事をしていく中で私自身が思っていた何倍も子どもが好きだなあ。と痛感しています。利用者様・保護者様と共に信頼関係を築きあげながら仕事に取り組んでいきたいと思っております。



アクイノ ジェシカ ロサリオ

EPA介護福祉士候補生/しいのみ園

私の名前はアクイノ・ジェシカです。今年の1月からこの施設で働き始めました。私はアナグラムを表現したいと思います。この動物は、鋭い頭脳を必要に応じて集中させ、忍耐の美德を發揮し、行く手に何があつても進み続ける粘り強い生き物なのです。



日暮 桃花

保育士/しいのみ園ともほんだ

趣味は写真、カフェ巡り、音楽鑑賞と多趣味です。最近は、キャンプを始めてみたり新しいことにチャレンジしています。自分の行動力を仕事でも柔軟に活かせるように頑張っていきたいと思います。



アブシン ジエイン ルソン

外国人特定技能/しいのみ園

エイジェと申します。フィリピンからまいりました。日本に来た理由は、日本語を習うことと日本で働く為です。日本で働き続ける為に介護福祉士国家試験に合格することを目標として勉強を頑張っています。そして利用者様たちとコミュニケーションが上手くとれるように日本語の勉強も頑張っています。



後藤 恵太

しいのみ園

2022年7月よりしいのみ園入所施設で働かせて頂いております、後藤恵太と申します。以前は、通信業界の会社員として働いておりました。右も左も分からず働き始め、そろそろ1年経とうとしております。まだまだ勉強中ですが、利用者様や先輩方の力になれるよう、精進してまいります。よろしくお願ひいたします。

# 活動紹介



ウズコロナの時代。キーワードは、柔軟な発想力とコミュニケーションの活性化です。

サービスの質の向上には、今までの概念に縛られないことが大切です。そしてコミュニケーションは、多職種の連携、アイデアや情報共有など、業務の効率化ひいては円滑な運営に大きく関わります。

今回は、私たちが考える新しい活動について紹介します。



▲しいのみ園に料理クラブの参加者を募るポスター。  
日本語と英語バージョンを作成して掲示しました。

## 一緒に作って、一緒に食べる。 「料理」は、世界のコミュニケーションツールです。

これまでに第6回まで開催し、1回平均で10名前後の職員が参加してくれています。毎回反省と改善をして次の活動に繋げていくように心がけています。例えば、当初は配布していなかったレシピを配ったり、ポスターの作り方を変えてみたりと試行錯誤しながらやっています。今後は、男性の参加者を増やしていきたいのと、メニュークリエストができる意見箱のようなものを作ったり、子育て世代やしいのみ園の保護者様が気軽に参加できるような環境を整えていきたいと考えています。また、しいのみ農園で採れる新鮮野菜を活用したメニューも加えていきたいとも思っています。

料理は、国籍や世代、性別関係なく多くの人が楽しめるものです。一緒に作って、一緒に食べて、同じ時間を共有する交流の場とすることを理想として活動を続けていきます。



## 自慢のレシピを公開、 料理指導して下さる方を募集しています。

最後になりますが、料理クラブでは、自慢のレシピを公開、または当日指導してくれる講師の方を募集しています。講師といっても参加者全員で作るので、友人と一緒に料理するような感覚で気軽に来ていただければと思います。また、料理を苦手としている方、これから料理を覚えたいためも大歓迎です。少しでも興味があれば気軽に参加していただければと思います。同時にアイデア企画も募集しています。例えば魚のさばき方講座や、キムチの作り方講座、郷土料理講座といった具合でやってみたい企画があれば遠慮なく言ってください。皆様のご参加をお待ちしております。



中根 廉太  
社会福祉士  
介護福祉士



## Kitchen Shiinomi しいのみ園に料理クラブできました。

料理クラブは福祉QCの取組として始めました。きっかけはコロナ禍による職員間のコミュニケーションの場がゼロになってしまったことでした。そこで、どういった交流の場を求めているのかをアンケートし、一番関心の多かった料理を取り上げて活動をはじめました。

クラブ発足後に感じたことは、作る料理によって参加者のバラつきが見られることでした。つまり自分が作りたい料理ではなくて、食べたい料理の場合に参加するということがわかりました。よくよく考えてみれば、好きではないものやどんな料理かわからないものは敬遠されてしまうのは当然であったと反省しています。



## 自慢のレシピを公開、 料理指導して下さる方を募集しています。

最後になりますが、料理クラブでは、自慢のレシピを公開、または当日指導してくれる講師の方を募集しています。講師といっても参加者全員で作るので、友人と一緒に料理するような感覚で気軽に来ていただければと思います。また、料理を苦手としている方、これから料理を覚えたいためも大歓迎です。少しでも興味があれば気軽に参加していただければと思います。同時にアイデア企画も募集しています。例えば魚のさばき方講座や、キムチの作り方講座、郷土料理講座といった具合でやってみたい企画があれば遠慮なく言ってください。皆様のご参加をお待ちしております。



中根 廉太  
社会福祉士  
介護福祉士

# 活動紹介



## 食事会

令和5年度食事会は5月28日に行われました。例年であればBBQでしたが、食事会という形で保護者様、利用者様、職員と親睦を深める久しぶりの機会となりました。長安副会長のお話の中で「今度は、職員のみなさんも一緒に食事をして親睦を深めましょう」とのことで今回の行事では職員が利用者様、保護者様と一緒に食事を摂ることは遠慮させて頂きました。新型コロナウイルス分類が5類に引き下げられた現在も予断を許さない状況が続いている。利用者、保護者、職員が一緒に食事をし、もっと一緒に楽しめるような日を待ち望むばかりです。これからも職員一同、心ひとつになれるイベントを模索してまいります。



## ゆうあいピック

令和5年5月17日(水)青葉の森野球場にて、フライングディスク大会が開催されました。コロナ感染症があり、3年ぶりの参加だったので、皆さん練習から気合が入っていました!当日は天候に恵まれ、良いコンディションの中、大会に挑むことができました。結果、金メダルなど多数のメダルを獲得することができました!成功した時はみんなで喜び、失敗した時は励まし合うなど利用者様、職員が一丸となり、楽しく、素敵な時間を過ごすことができました。



田代 幸子  
介護福祉士



## 笑顔あふれる一泊旅行

6月21日(水)~22日(木)で一泊旅行に行きました。1日目の昼食は、九十九里にある「ばんや」にて海鮮丼を食べました。ボリュームのある海鮮丼でしたが、みなさんぺろりと召し上がっていました。

今回は民宿わたなべに宿泊しました。夜には、旅行恒例の保護者会会長大松様のbingoゲームをし、みんなで盛り上がりいました。

2日目は、養老渓谷駅から上総牛久駅までのトロッコ列車貸し切り。自然を感じながら、トロッコ列車内で昼食のお弁当を食べました。

利用者様のたくさんの笑顔が見られ、とても良い思い出になったのではないかと思います。

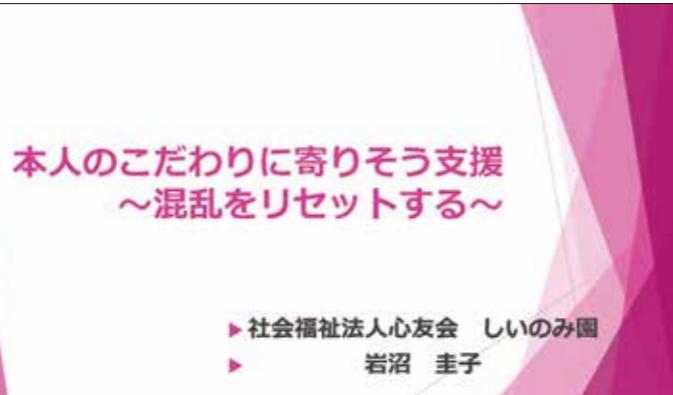
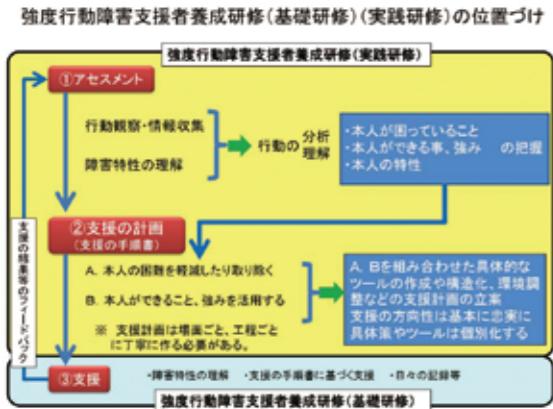


## ピクニック

5月24日(水)近くの平和公園へみんなでドライブ・ピクニックに行ってきました。当日は天候に恵まれ、入所利用者35名が参加しました。2班に分かれ、晴天のドライブを満喫しその後は現地で公園内芝生広場にレジャーシートを敷いてコロッケ等が入った特製ピクニック弁当をランチに、おやつにチョコスナックをみんなで食べました。いつもと違う場所、しかも屋外(しかも晴天)という事もあり、みんなのテンションは高く喜びの声が聞こえ楽しくて仕方なかったようです。嬉しそうにお弁当を食べているみんなの姿が印象的でした。しいのみ園では、今後も定期的にイベントを行っていく予定です。今年度もたくさんの喜びの姿が見られそうです。

# 強度行動障害者支援の向上を目指して

## こだわりに寄り添う支援～16人研修を受講して～



## 支援の方法論を学ぶとともに 支援の実践を兼ねた研修

私は昨年度、16人研修を受講しました。16人研修とは、強度行動障害のある方への支援を適切に行うために、支援者の強度行動障害についての理解を深め、専門性を高めることを目的とし、平成26年度から県内の障害者支援施設等の職員を対象に千葉県が実施している研修となります。千葉県内の施設の中で選ばれた16名が1年を通して約30日間の研修に参加することができます。心友会では過去私を含め6人が受講しました。支援の方法論を学ぶとともに、定期的な記録検討会議と施設訪問指導を通して、事例として取り上げさせていただいた利用者様への支援について検討・実践を行い、また、事例検討会などの主要な指導技術であるファシリテーションを学ぶなど、知識と実践を兼ねた研修となっています。

## 本人の強みを生かし 自由な発想で

今回、私は入所の利用者様を事例対象者とさせていただき、対象利用者様の支援を行いました。「人が好き」という本人の強みを生かし、トイレに物を詰め込む行為がある時間帯に職員と一緒に朝のお手伝い活動を取り入れたところ、本人の毎朝のルーチンとなり、役割を持つことで、他利用者様からも本人の仕事として認知されるようになりました。また、頻回な着替え要求に関しては、こだわる衣類を一旦リセットするため、衣類を全交換し、着替え一式を箱に1セットずつ入れました。着替えた後の衣類を自分で洗濯機に入れて干すなどの行為を自身で行うことで、衣類が自分のところへ戻ってくる流れを確認することができ、着替えの回数が激減しました。これも入所職員や保護者様の協力があり、自由な発想で新たな支援を取り入れることができた結果だと思われます。



## 学びを次につなげていく

そして、16人研修の総まとめとして、3月11日(土)千葉県教育会館において、実践内容とその結果を発表する、公開実践報告会に参加しました。私はトップバッターの発表だったので、とても緊張しましたが、その後は受講者全員の様々な取り組みを聞くことができ、拘りの意味を解くヒントを沢山もらうことができました。

今後心友会では、16人研修受講者が中心となって、支援のあり方検討委員会にて、学んだ知識を持ち寄りながら、利用者様の支援に研修で得た学びを生かしていく所存です。

岩沼 圭子  
社会福祉士  
介護福祉士

# 「福祉の未来を創造し続ける」ことが、私たちの使命です。

## ～清水基金の国内研修に参加して～

### 未来の福祉サービスの 担い手を育てる

清水基金は1966年、清水建設株式会社社長 清水康雄氏の「同族四家の共有財産を社会に還元して、心身障害者の福祉向上に尽力したい」という強い思いから発足し、車両・機器・建物等、広く助成事業を行っています。その内の一つに研修事業も含まれ、国内研修事業と海外研修事業が行われ、次世代の福祉サービスの担い手となる人材育成を行っています。

私は今回第10回国内研修事業に応募し、書類審査の結果、受講が決定しました。東京都市ケ谷にて日本全国から障害福祉サービスに従事している職員24名が集まり、障害福祉の動向と今後の方向性や事例に基づいた実践的支援の検証をしました。



### リフレーミングから 様々な気づきを得る

研修は主に①見方を変える②行動を変える③組織を変える④地域(社会)を変えるの4つをテーマとしています。今までの捉え方を柔軟な発想へ変換していく、様々な気づきをもって福祉を創造していくことが求められ、1日目の講義の後はグループに分かれて事例をもとにワークショップ形式で研修を行っています。日本全国から集まった人材ということもあり地域毎の長所と短所を分析した上で、必要な支援を組み立てていく研修を行いました。地域作りを検討していく中で個人のニーズを叶えていく姿勢には、日々ニーズの変化がみられる現代社会において我々支援者が持つべきスキルであることを実感したのと同時に実現していく為には行動を変えていく必要があることを学びました。

心友会には、5つの職員の使命があります。その一つが「福祉の未来を創造し続ける」です。未来は誰にもわかりません。だからこそ、広い視野と柔軟な発想で明るく楽しい未来を創造し続ける。今回の研修を経て使命の重要性を再確認することができました。この思いを法人内でも広めていき、個々の力のみではなくチームとして「福祉の未来を創造し続ける」事に尽力していきたいと思います。そうすることが、法人理念である「親亡き後」を見据えた施設づくりにつながると考えるのです。



### 多面的に見る 挑戦し続ける

今後の目標として国内研修のみで修了するのではなく清水基金の海外研修へと挑戦を進めていこうと思っています。心友会では、海外の大学生のインターンシップ(就業体験)受け入れや、EPA(国際連携協定)事業を通して国際交流を進めておりインターナショナルスタッフも多く在籍しています。また、新しい視点を常に意識していく為にも、世界の障害者福祉を実感することは必要であり、日本の障害者福祉発展にも繋がると信じています。いつか世界に誇れる支援を実行できる施設となるよう挑戦を続けていきます。

高山 領  
社会福祉士  
介護福祉士